

平成30年度第29回関東高等学校バスケットボール新人大会

ALL Kanto Rookies 2018 in Chiba



(女)準決勝

試合日: 2019/02/10  
 開始時刻: 9:00~  
 会場: 大網白里アリーナ  
 コート: Aコート  
 試合順: 第1試合(女)準決勝

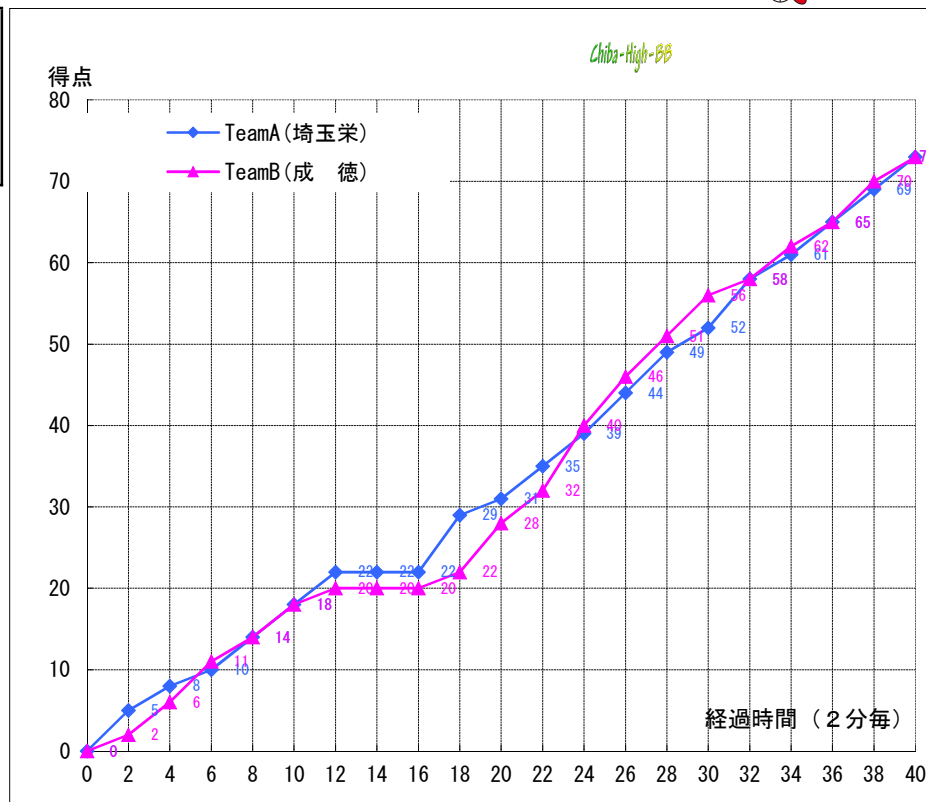
Team A		Team B															
埼玉栄	86	成徳															
(埼玉県)	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>10</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>28</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>8</td></tr> </table>	18	-	18	13	-	10	21	-	28	21	-	17	13	-	8	81
18	-	18															
13	-	10															
21	-	28															
21	-	17															
13	-	8															
		(東京都)															

TeamA(埼玉栄)

No.	PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド*			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
0	◎	沖 咲月	11	0	4	3	5	1	5	6	2	0	2
1	◎	浜田 陽菜	14	0	5	4	1	3	9	12	3	0	5
2	◎	狩野 美里	29	0	13	3	4	3	5	8	0	1	4
3	◎	大家 未羽	11	3	1	0	0	0	2	2	1	1	1
4	-	内野 綾夏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	○	東海林 萌菜	0	0	0	0	1	0	3	3	0	0	0
6	-	丸山 莉央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	相澤 ゆきの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	◎	野尻 愛架	9	0	4	1	0	2	5	7	0	0	0
9	-	木下 愛里	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	高橋 こはく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	會田 芽夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	宮城 姫七	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	正野 夏月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	○	CAMARA ASSETOU	12	0	6	0	3	4	5	9	0	0	5
Team / Coach:							-	1	3	4			0
合計			86	3	33	11	14	14	37	51	6	2	17

TeamB(成徳)

No.	PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド*			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	野本 美佳子	9	1	2	2	4	2	6	8	3	0	3
5	-	鬼頭 ゆめこ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	◎	小関 笑	31	1	14	0	4	4	5	9	2	0	4
7	◎	洪 潤笑	10	1	3	1	5	0	3	3	1	0	1
8	◎	山田 葵	19	2	5	3	0	3	4	7	3	0	2
9	◎	青野 美玖	2	0	0	2	4	2	2	4	1	0	1
10	○	須田 理恵	2	0	1	0	2	2	2	4	1	0	0
11	-	小島 瑠生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	○	山口 希乃夏	8	0	4	0	3	0	3	3	1	0	1
13	-	鷹山 朋子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	曾我 瞳桜子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	金子 純麗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	小崎 葉奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	増子 ひなの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	石井 沙羅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	0	3	3			0
合計			81	5	29	8	22	13	28	41	12	0	12



タイムアウト

	前半(1・2クォーター)	後半(3・4クォーター)	延1	延2	延3	延4
TeamA	19:43	33:49	37:19	39:28		
TeamB	2:55	14:21	39:13	44:28		

【戦評】

両チームマンツーマンディフェンスで試合がスタート。成徳はミドルシュートと3Pを武器に得点を重ねる。一方の埼玉栄はターンオーバーからの速攻と、#2狩野のゴール下で着実に得点を奪った。第1Qから一進一退の攻防が続き、18対18で終了。  
 続く第2Q、流れを変えたい埼玉栄はビッグセンターの#14 AMARAを投入。ディフェンスを2-2-1ゾーンプレスゾーンに切り替え相手の得点を10点に抑えた。しかし成徳も相手のビッグセンターをチーム全員で封じ込めることに成功。この第2Qでは、#14 AMARAの失点をわずか2点に抑えた。29対26というロースコアゲームになったのは、まさに両チームのディフェンスが成功したためである。  
 第3Qでは互いに出し切れなかったオフェンスが炸裂。成徳は精度の高いミドルシュートと3Pでゴールネットを揺らす。対する埼玉栄は早さを活かしたドライブインで相手を翻弄。どちらもオフェンスの仕掛けあいとなり、56対52と埼玉栄が優勢の形で第4Qを迎えた。  
 ラスト10分になっても激しい攻防は続く。埼玉栄はオールコートマンツーマンと2-2-1ゾーンプレスゾーンを使い分けて攻めるディフェンスを展開するも、成徳も落ち着いて対応しミドルシュートを確実に決めていき、73対73の同点で第4Qが終了した。  
 延長戦でも互いに集中力を切らすことがなかったが、試合を決定づけたのは埼玉栄#2狩野のインサイドプレーである。インサイドで受けたボールを確実に点にしていき、最後までゴール下のオフェンスを徹底した埼玉栄に軍配が上がった。

審判 大澤 尚樹 / 円谷 怜美 / 久保 あしみ

記入者 齋藤 祐介